

教えて歯医者さん！

歯の生えかわりについてⅦ

乳歯を早い時期に失ってしまったら

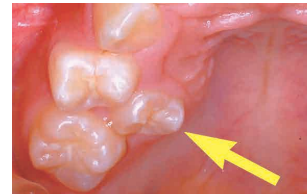
永久歯への生え替わりの時期が来ていないのにむし歯などで、どうしても乳歯を抜かなければならないことがあります。歯が抜けたままにしておくと隣の歯がよってきて正常に噛むことができなくなり将来、永久歯の歯並びが悪くなったり、顎の成長に悪影響がでたりします。そこで保険装置といわれる装置を入れ、隣の歯がよってこないようにします。下の写真のお子さんは乳歯の奥歯を早い時期に失った為に矢印の大人の歯が変なところから生えてきました。このような場合には矯正治療が必要となります。



院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医

日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会

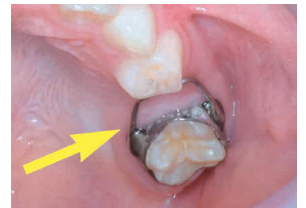


ところから生

てきました。このような場合には矯正治療が必要となります。

バンドループ (右の写真)

奥歯が1本だけ抜けた場合に使うつかえ棒です。抜けた所から永久歯が生えてきた場合にはすぐにループをはずす必要があります。固定式ですのでどんな子供にも使え違和感が少ないのが特徴です。保険を使用できますが、どこの歯科医院でもできるとは限りません。ご心配なら小児歯科医へご相談ください。



小児義歯

たくさんの乳歯を失ってしまい噛むのにも困る場合に使用します。形は大人の入歯と似ており、ほとんど歯がない場合にも利用でき、見かけも良くなります。しかし4歳以上でないと、なかなかうまく使えませんし定期的な調整が必要です。

ゆきなり小児・矯正歯科

【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】



長崎市葉山2-5-26
TEL:095-857-8211

院内キッズスペース